

菊岡保人の水彩画

～細部に思いをこめて～

「ねーママ！」

8月の陽射しの強い午前11時頃、不忍池の畔の道を行く女性3人とその風景です。この頃はコロナの心配もなく、人々はノーマスクで自由活発に活動していました。

ここに登場する女性たちは、見事な蓮を鑑賞している時に偶然カメラの前を横切った人達で、各人の関係は全く分かりません。でも想像で、前の2人は母と子だろうと、表題のようなタイトルにしました。日傘の女性は女の子のおばあちゃん……？如何でしょうか。そうそう、お母さんはおめでたで、女の子は間もなくお姉ちゃんに?!

余談ですが不忍池の水はどこから来ているのかとインターネットで調べてみました。江戸時代この池はすでにハスの池として存在し、北から藍染川（谷田川）が流入し南の忍川から流出していたようです。現在この流入河川はなくなり、水は近くの京成上野駅やJR上野駅の地下ホームの湧水で賄われているといえます。池の広さは11haですから相当の水量をコントロールしているのでしょう。

この絵の制作で気を遣ったのは、蓮の葉達が同じ調子にならないようにすることでした。大きな葉っぱは一枚一枚丁寧に描き進めました。何枚描いたか分かりませんが、群れは手強いものです。花を描く時は楽しいひと時でした。どうかこの夏が穏やかでありますように。



菊岡 保人



Size : 530×455mm (F10)

